

くずまき

葛巻地区

(新潟県見附市)

- 計 画 期 間 平成 23 年度～平成 26 年度
- 面 積 150ha
- 交付対象事業費 444.7百万円
- 市人口 39,842人

ポイント

交流の促進と地域コミュニティの活性化を図る「地域交流センター整備事業」

地区概要

地域活動の拠点となる地域交流センターの整備や、地域交流を促進させる仕掛け作りとして花の植栽活動、レンタサイクルの整備を行い、地域全体を活性化させ、住み良い地域の形成を図る。

目 標

交流の促進と地域コミュニティの活性化による活気ある住み良い地域の形成

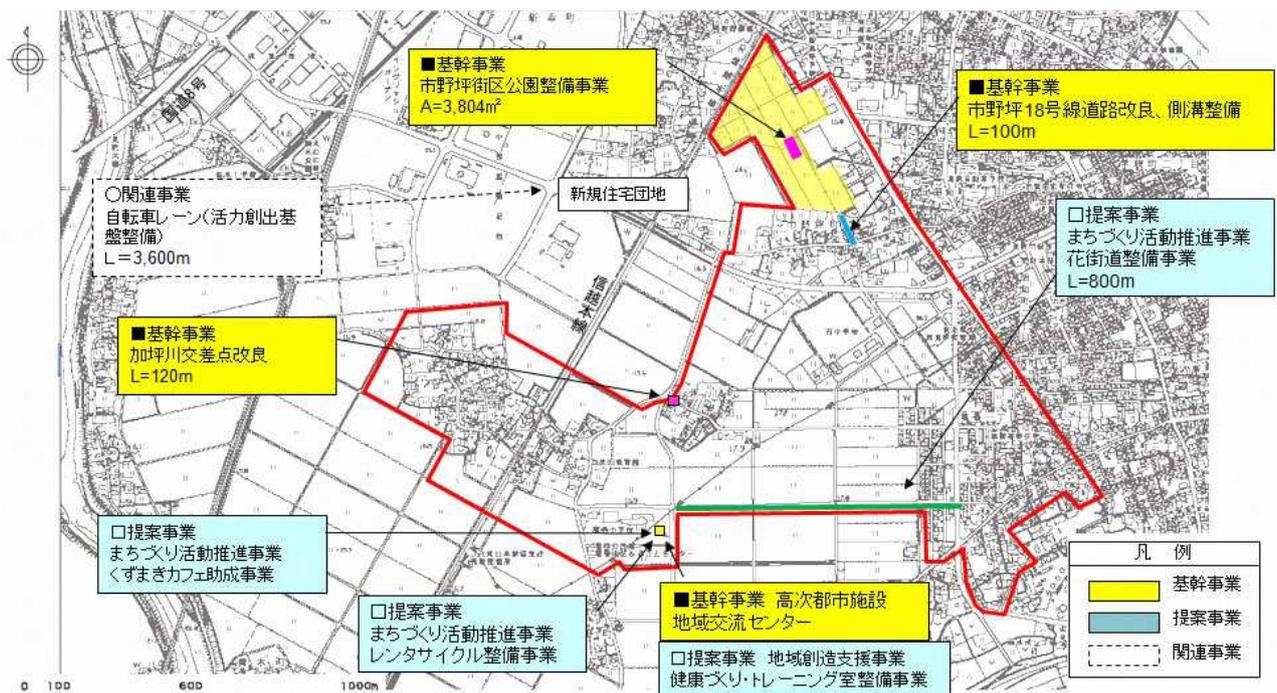
指 標

地域活動の拠点を形成し、どれだけ地域交流が促進されたかを測る地域交流センターの利用者数、地域コミュニティ活動の活性化を測る各種地域コミュニティ活動の延べ参加者数、地域全体が活性化し、どれだけ住み良い地域が形成されたかを測る市民アンケートの満足度を指標に設定する。

指標	従前値	目標値	実績値
地域交流センターの利用者数	6,539 (H21) 人/年	7,000 (H26) 人/年	18,824 (H26) 人/年
地域コミュニティ活動参加者数	1,334 (H21) 人/年	2,000 (H26) 人/年	2,009 (H26) 人/年
市民アンケートの満足度	63.39 (H22) %	64.39 (H26) %	61.56 (H26) %

事業内容

- 基幹事業 (387.4百万円) → 道路 (2路線 幅員 9.5~10.5m、総延長 220m)、公園 (A=3,804 m²)、高次都市施設 (地域交流センター1,358 m²)
- 提案事業 (57.3百万円) → 地域創造支援事業 (健康づくり・トレーニング室整備事業)、まちづくり活動推進事業 (花街道整備事業、レンタサイクル整備事業、くずまきカフェ助成事業)



地区の現況と課題

葛巻地区は、見附地区に隣接する地域や見附駅西口周辺に住宅地が造成され、人口及び世帯数も増加傾向にある。しかし、新規の住民と既存の住民との結び付きは希薄であり、地域コミュニティ機能の低下が懸念される状況となっている。

見附市では、地域の様々な課題に対して地域自らの力で方向性を探り解決を図っていく地域コミュニティ活動を推進し、市民との協働によるまちづくりの実現を目指している。地域住民の交流や他地域との地域間交流を進め、地域の活性化を図る施策の実施が喫緊の課題である。

提案事業の特徴

花街道整備事業

既に、上新田市野坪線と開運橋交差点をつなぐ街路の脇に花を植栽して「花街道」を整備しているが、その花街道の整備区間を延長し、葛巻小学校から葛巻入口の間の街路約 800 メートルについても花を植栽することで、「花街道」の拡大を行う。花街道の整備により葛巻地区の景観を向上し魅力を高めることで、来訪者を増加させるとともに、地域コミュニティ活動の活性化も目指す。

レンタサイクル整備事業

低炭素社会に向けての地域交通対策の一環として、サイクリングロードの整備やレンタサイクル事業に取り組んでおり、地域交流センターにもレンタサイクルステーションとして貸出用自転車を整備する。あわせて、地域内の自然景観、史跡、文化財等の地域の宝物を繋ぐガイドマップを作成し、地域内を周遊する仕掛けづくりを行うことで、地域交流センターの利用増加と地域交流の促進を図る。

くずまきカフェ助成事業

地域交流センター内に整備される喫茶コーナーを活用し、豊かな自然の景観を活かしたくずまきカフェ（地域コミュニティ活動を活性化させる取り組みの総称）を立ち上げる。カフェの手法を用いることで、誰もが気軽に立ち寄れる交流の場と交流の機会を創出し、地域交流の促進及び地域コミュニティの活性化を図る。

計画策定プロセス

葛巻地区民ワークショップ

葛巻地区の計画策定にあつては、地域住民とワークショップを開催し、地域交流の促進や地域コミュニティの活性化を図るために必要となる事業の検討・提案がされた。これら提案を基に、都市再生整備計画の立案を行った。



▲ 地域コミュニティ活動の様子



▲ 花街道（整備前）



▲ 花街道（整備後）



▲ レンタサイクルガイドマップ



▲ くずまきカフェ



▲ ワークショップの様子